

2 横浜市寿町健康福祉交流センターの管理運営

横浜市寿町健康福祉交流センターは、寿地区の保健医療の充実を図るとともに寿地区の住民をはじめとする市民の健康づくりや介護予防、生活の自立支援を通して生活環境の向上を推進し、さらには市民の社会参加を促進して市民相互の交流を深め、もって福祉の向上に寄与するために設置された施設です。

令和5年10月には、第1期に続き令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間、指定管理者として第2期の指定を横浜市から受けました。

令和2年3月上旬より新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、施設の使用制限や事業の一部休止の措置を講じましたが、令和6年度においても、引き続き感染拡大防止に十分配慮しながら、同センターの指定管理者としてセンターの諸機能を有効に活用して、利用者の利用に供するとともに各種事業を実施します。なお、運営に当たっては、地元代表、関連施設委員、行政等で構成した運営協議会と協議を行います。

◆センター施設概要

名称	横浜市寿町健康福祉交流センター		
所在地	横浜市中区寿町4丁目14番地		
敷地面積	2,647.82 m ²	建築面積	1,628.81 m ²
延床面積	2,529.94 m ² (1階736.60 m ² 、2階1,457.69 m ² 、地下335.65 m ²)		
広場面積	約700 m ² 他外構部		
施設全体	構造	鉄筋コンクリート造 地上9階地下1階(3~9階市営住宅)高さ30.8m	
	延べ面積	7,685 m ² (福祉施設2,530 m ² 、市営住宅5,155 m ²)	
	用途	福祉施設 1・2階 地階 屋外 市営住宅 1階(玄関、集会室) 3~9階 80戸	
施設内容	<p>【1階】多目的室、作業室、調理室、ラウンジ、図書コーナー、管理人室他</p> <p>【2階】診療所、精神科デイケア、健康コーディネーター室、活動・交流スペース、一般公衆浴場、授乳室、事務室等、横浜市ことぶき協働スペース(指定管理外)</p> <p>【屋外】広場、スロープ、駐車場(5台)、利用者駐輪場、屋外トイレ、防災備蓄倉庫他</p> <p>【地下】 機械設備室</p>		

予約が必要な施設	<p>【1階】多目的室（約110㎡）※ 作業室（約30㎡） 調理室（約20㎡）</p> <p>【2階】 活動・交流スペース（約90㎡） ※会議室は2室に分離できます。オープンスペースはミニ打合せ等で自由に利用できます。スペース内には、会議室2室が含まれます。</p>
設備	エレベーター、太陽光パネル、広場防災用トイレ他

◆センター施設の貸出

対象者	寿地区の住民をはじめとする市民相互の交流を推進して、市民の健康づくりや介護予防、自立支援等、健康福祉の向上を図るための様々な活動をしている団体等です。なお、貸出施設以外の施設は、原則として誰もが自由に利用できます。
対象施設	①多目的室、②調理室、③作業室、④活動・交流スペース（会議室1、会議室2含む）。 ※調理室は、多目的室・調理室と一体で利用することもできます。
貸出区分	貸出の単位は3時間ごとの区分とします。 ①午前 午前9時から午後0時まで ②午後1 午後0時から午後3時まで ③午後2 午後3時から午後6時まで ④夜間 午後6時から午後9時まで ※日曜日・祝日の「午後2」の区分は、午後5時まで、夜間区分はありません。
利用料	無料
目的外使用	<p>地域住民による健康活動や福祉活動及びこれらの活動を通して住民相互の交流を図るために交流センターを利用しようとする活動以外の目的であるものの、条例及び要綱の範囲内の使用である場合、所定の目的外使用料を支払うことで交流センターを使用することができます。</p> <p>【一区分あたりの目的外使用料金】</p> <p>①1階多目的室 1,530円（1,020円） ②1階調理室 330円（220円） ③1階作業室 420円（280円） ④2階活動・交流スペース（会議室1） 300円（200円） ⑤2階活動・交流スペース（会議室2） 420円（280円） ⑥2階活動・交流スペース全室※ 1,380円（920円） ⑦駐車場 600円/台（400円/台）</p> <p>（）内は日曜祝日の「午後2」の区分のみ適用されます。 ※「活動交流スペース全室」とは活動交流スペースの一体利用の場合で枠数としては2枠としてカウントします。</p>

◆センター登録団体及び事前予約

登録団体	横浜市寿町健康福祉交流センターにおいて活動を行う団体は、事前に団体登録を行っていただき、登録区分に応じてセンターを利用できます。
登録区分	<p>団体登録区分は、次の3区分に分かれています。</p> <p>①健康福祉交流団体 市民の健康づくりや介護予防、または、福祉支援を必要とする地域住民の自助活動、支援活動、若しくは地域の支えあいを目的とした住民相互の交流活動に直結し、健康福祉交流活動の担い手として活動する団体。</p> <p>②健康福祉協力団体 自らの生活環境等の向上のために活動している団体であって、健康福祉交流活動、地域貢献活動等のためのボランティア活動を実施する団体。</p> <p>③その他の団体 目的外団体及び未登録団体。</p>
団体登録の有効期限	登録した日から3年間有効とします。継続して登録する場合には有効。期限満了日までに、団体登録書の更新をご案内します。
事前予約	<p>登録を行っていただいた団体は、登録区分に応じて、優先的に事前予約ができます。電話予約も受け付けていますが、正式な利用申請書の提出をしていただきます。</p> <p>【事前予約受付可能日及び利用枠数】</p> <p>①健康福祉交流団体 2か月前の1日から 上限3枠まで</p> <p>②健康福祉協力団体 1か月前の1日から 上限2枠まで</p> <p>③その他の団体 利用日から起算して30日前から 上限はありませんが横浜市の許可が必要となります。 ※利用枠数とは、貸出区分ごとに原則1施設</p>
登録団体数	70団体（令和6年2月1日現在）
優先利用	横浜市が、健康福祉交流推進のために交流センターを利用しようとするときは、優先的に利用します。

(1) 診療所（公益目的事業2）の運営

診療所は、①患者のほとんどが生活保護受給者である、②相談室では専門スタッフが各種相談に応じている、③結核や依存症等の患者の方々を対象に服薬管理（DOTS）を行う、④自己負担金の持ち合わせがない患者への貸付（特別診療）を行う、などを特徴としております。

令和4年度から、患者の待ち時間の短縮と医師の負担を軽減し、診療内容の充

実に資するため、内科については、原則常時医師2人の態勢としました。

今後とも、地域医療を支える診療所として患者に寄り添い、予防し、治し、支える医療を様々な面から提供していきます。

①診療概要、利用内訳等

診療科目	内科、精神科(精神科デイケア含む)、		
診療日	月曜日～金曜日(開所予定日数243日)		
休診日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日		
診療時間	午前 9時30分～12時30分 午後 1時55分～6時00分		
精神科デイケア	月・水・金曜日 午前10時～午後4時		
院内薬局	月～金曜 午前・午後(診療時間と同)		
延利用者見込	19,000人 1日平均 78人	内科 精神科 デイケア DOTS※	12,500人 5,800人 700人 1,400人
診療所スタッフ (令和6年4月1日 予定)	医師12名、看護師6名、薬剤師1名、放射線技師3名、医療ソーシャルワーカー2名、作業療法士2名、医療事務3名、事務職4名、アルバイト2名 計3名		

※DOTS : 結核治療、アルコール依存症治療等において、医療監視のもとに、看護師が直接確認しながら、服薬指導管理を行います。※内科・精神科はDOTS含む

② 診療所での診療・相談以外の事業

ア 寿地区健康診査(結核及び生活習慣病予防)の実施

地区住民の健康意識の向上のため、地域や関係機関と連携し健康診査を実施します。(年2回予定)

イ 年末結核検診事業の受託

横浜市が、年末年始に住居を持たない生活困窮者のため一時宿泊所宿泊所を提供する「寿地区年末年始対策事業」の一環として行う「結核検診事業」を受託します。

【新規・拡充等の取り組み】

ア 内科の地域特性を踏まえた医療提供の構築等

内科2診制の定着を活用し、寝たきりや認知症などで通院が困難な患者に対する簡易宿泊所への積極的な往診の調整と実施、またポータブルエコーの導入による患者の負担軽減と適切な検査の実施に取り組みます。

このことにより、地域の特性を踏まえた医療の提供、患者の利便性向上とともに診療報酬の増加を目指します。

イ オンライン資格確認システムの本格的導入

国によるマイナンバー保険証への切り替えに伴い、オンライン資格確認システムを導入し、対応します。

(2) 健康コーディネーター室（公益目的事業2）の運営

①健康チェック・健康相談

血圧等の測定や個別相談を通し、自身の健康管理ができるよう支援していきます。

ア エリア内の他診療所との連携のツールとして血圧手帳を活用し、新規利用者を増やしていきます。【拡充】

イ 出張健康相談として、生活館はじめ簡易宿泊所への健康相談を再開していきます。【拡充】

ウ 個別生活改善（栄養士による個別栄養相談）事業：継続した相談ができるよう工夫していきます。

②健康づくり・介護予防の推進

日常生活の中に、楽しみながら運動やバランスの良い食事が取り入れられるよう、各種教室を開催します。

ア 健康クラブ：毎年体力測定を行い、参加者のモチベーションの向上と教室の効果判定を行います。

イ ミニクッキング：業務班と協力し、アシスト事業参加者を対象に、カリキュラムに組み込んで実施していきます。【拡充】

ウ ノルディックウォーキング体験会：運動習慣が身につくよう、引き続き業務班と協力し実施していきます。

エ 作業所を対象とした健康づくり：健康や食生活をテーマとした講話を、地域の作業所に実施していきます。作業所職員に対しては、健康づくりサポーターとしての役割を伝えていきます。

③関係機関・団体とのネットワークの構築

ア 寿地区障害者作業所等交流会：寿周辺地区にある約20団体の作業所を対象に、研修等を年3回実施します。

イ 健康コーディネーター連絡会：関係機関の情報交換を目的に年2回開催します。

ウ 簡宿連絡会：当面、簡易宿泊所への出張健康相談を実施しながら、管理者との関係づくりに力を入れます。

エ 介護事業所連絡会：地域ケアプラザと協力し、エリア内で実施されている連絡会へ参加していきます。

◆施設概要

開室日時	月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
休日	土曜日、日曜日、祝日および12月29日～1月3日
スタッフ	4名（室長含む）
各種機器・設備	体組成計測定器、血圧計、各種フードモデル、血中酸素濃度測定器、握力計等
利用者見込み	20,000人

(3) 一般公衆浴場（収益事業1）の運営

地区の住民の公衆衛生の向上、健康維持のため湯舟があり広く快適な一般公衆浴場は必要不可欠な施設です。また、単身生活者の住民がふれあい交流できる場の一つでもあります。

当協会は、旧寿町総合労働福祉会館において、42年間一般公衆浴場を営業してきました。旧会館を閉鎖した平成28年3月末から一時、休業していましたが一般公衆浴場「翁湯」を令和元年6月1日から再開しました。

再開にあたっては、横浜市浴場協同組合と協議し、協力（一部業務の委託）を得て運営しています。

① 委託業務の内容

安全確認を含む受付業務、清掃及び衛生管理業務、設備機器管理業務

② サービスの向上

ア 横浜市浴場協同組合と連携し、季節感のあるサービスを実施（菖蒲湯、柚子湯、昆布湯等、6年度より回数を増加し月1回変わり湯の日を設けます。

【拡充】

イ 健康器具（血圧計、体重計等）を設置

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午後1時から午後9時まで
休日	日曜日及び元旦
入浴料金	大人530円、中人（6歳以上12歳未満）200円、 小人（未就学児未満）100円
物販品	タオル、石鹸、飲み物等
アメニティ	体重計、血圧計等
延床面積	約200㎡（脱衣室、洗い場・浴槽含む）
利用者見込み	26,000人

(4) 諸室の管理及び活用

【1階】

① ラウンジ（公益目的事業1）

ラウンジを数区画に分け、諸室との連携を考えながら、住民のニーズに沿った異なる機能を持たせます。また、総合的イベントや地域行事ではラウンジ・諸室・広場を一体的に利用できます。

ア 飲食コーナー

電子レンジやポットなどを提供し、軽飲食ができるコーナーとして利用できます。

イ 娯楽コーナー

囲碁・将棋セット等を常設し、交流の場を提供します。

ウ テレビコーナー

60インチの大型液晶テレビを設置し、常時放映しています。

また、月に1度程度、映画の上映（コトキネ）を行います。

エ 情報コーナー

行政広報資料や地域関係機関団体等の情報資料を提供します。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（利用登録なし）
アメニティ	液晶テレビ、囲碁セット、将棋セット、電子レンジ、ポット等
延床面積	約320㎡
利用者見込み	40,000人

② 図書コーナー（公益目的事業1）

各種図書を備え、読書の場を提供します。

貸出カウンターはラウンジのフロントとして、利用を促す役割を持たせます。

また、本の閲覧・貸し出し、新聞の閲覧の他にも、新着本などを紹介する図書コーナーだよりの発行（季刊）や、様々なアート作品を展示するなど居心地の良い空間を提供するようサービス向上に努めます。また、更なる利用促進に向けて、海の日や山の日、ハロウィンなど季節ごとにイベントを企画・実施します。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
受付	スタッフ1名常駐
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（図書貸出は登録制）
アメニティ	各種図書（約8,500冊）、カードシステム（バーコード式）、 血圧計・体重計等
延床面積	約70 m ²
利用者見込み	37,000人

③ 多目的室（公益目的事業1）

軽運動や会議、講座、研修など幅広い用途で利用できます。隣接している作業室や調理室と連動した催しも可能です。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用の他、個人利用の時間帯を設ける
アメニティ	テーブル・椅子、映像・音響機器、大型スクリーン、卓球台・卓球セット、ヨガマット、運動用具等
延床面積	約110 m ²
利用者見込み	17,000人

④ 作業室（公益目的事業1）

工作物を製作等の軽作業の他、打ち合わせ等にも利用できます。利用人員は8人程度。隣接している多目的室や調理室と連動した催しも行えます。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	作業台、椅子、工具セット、アイロン、ミシン等

延床面積	約 30 m ²
利用者見込み	3,000 人

⑤ 調理室（公益目的事業 1）

調理台や調理器具などを取り揃えており、料理教室や栄養講座の開催などの用途で利用できます。（利用人員は 5～6 人程度）

隣接している多目的室や作業室と連動した催しも行えます。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前 9 時から午後 9 時まで 日曜日・祝日 午前 9 時から午後 5 時まで
休日	第 4 日曜日および 12 月 29 日～1 月 3 日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	調理台、各種調理器具、冷蔵庫、炊飯器、電子オーブンレンジ、電気ポット、各種食器、配膳ワゴン等
延床面積	約 20 m ²
利用者見込み	800 人

【2階】

⑥ 活動・交流スペース（公益目的事業 1）

会議室 2 室とオープンスペースの部分があり、パーティションを移動させて一体的に使用することができます。会議室は諸団体が打ち合わせや活動の場所として予約利用します。また、オープンスペースは、自由にミニ打合せなどで予約なしで利用できる（現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用以外は使用不可）他、登録団体や地区内の様々な団体の活動を紹介する資料を閲覧できるコーナーを設けました。また、年 1 回地域住民や、関係団体から募った作品を展示する「ことぶき作品展」の会場や、地域の文化・歴史などがわかる展示（写真・資料等）地区内の保育園園児等の作品展示、地域ゆかりのアーティストや障害者等の作品展示を行っていきます。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前 9 時から午後 9 時まで 日曜日・祝日 午前 9 時から午後 5 時まで
休日	第 4 日曜日および 12 月 29 日～1 月 3 日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用、オープンスペースは個人利用もできます。
アメニティ	テーブル・椅子、ラック等、印刷機

延床面積	約 90 m ²
利用者見込み	13,000 人

【屋外等の利用】

⑦ 広場

センターの 1 階の交流ゾーン及び、2 階の縁側通路及びスロープと一体となった広場は、地域の住民や団体の交流、ふれあいの拠点であり、様々な地域活動を支える機能を発揮できる施設として利用されています。

【4つの機能】(約 700 m²)

- ア 住民の日常生活を支える憩い・息抜き・遊び・語らいの居場所機能
- イ 指定管理者や地域の諸団体等の主催する催事を実施する会場としての機能
- ウ 地域全体のイベントの場として、地区内外の住民相互の交流機能
- エ 災害時等の一時避難場所や応急活動拠点などの公的機能

⑧ 受付警備（公益目的事業 1）

センター施設内外の案内業務と警備を行い、設備の維持管理を行う他、急病人に対する救急車の要請等などの業務を行っています。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前 9 時から午後 9 時まで 日曜日・祝日 午前 9 時から午後 5 時まで
休日	第 4 日曜日及び元旦
体制	警備員 1～2 名常駐

⑨ 自動販売機等の設置（収益事業 1）

利用者へのサービスとして、1 階ラウンジのリフレッシュコーナー等に飲料の自動販売機（非常時対応用）を設置し、売上本数に応じた設置手数料を収益とします。また、有料のコピー機を設置しています。

(5) 自主企画事業（公益目的事業 1）の実施

① 自己啓発講座

参加者の自立を支援し、生きがいを持って充実した生活を送れるよう、地域と連携し、継続性のある講座を展開します。「健康づくり」、「生きがいづくり」を主なテーマとし、人と人との触れ合い、健康維持増進・介護予防に役立つ学びの場を提供していきます。

◆主なプログラム

名 称	内 容	回数等
ウォーキングフットボール	誰でもできる「ウォーキングフットボール」の基礎を学び、チームワークの大切さへの理解や住民同士の交流を深め、健康増進に繋がります。主に作業所対抗で年1回大会を開催します。	4月～3月 50回前後開催、大会は11月
園児交流サッカー	地区内2つの保育園児にサッカーを通じ、スポーツに親しんでもらうことと、相互の交流を目的に開催します。	年20～30回
ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキングの基礎を学び、地区内外をウォーキングし、健康増進と参加者の交流を深めます。	毎週1回実施、講座は年数回
(Y. S. C. C. ※とのコラボ企画) 健康づくり自己啓発講座	Y. S. C. C.等との連携のもと、健康づくりに欠かせない「食育」、「口腔衛生」、「健康体操」について包括的に体験学習できる講座を月1回行います。 食育：管理栄養士 口腔衛生：歯科医師、歯科衛生士 体操：トレーナー	4月～3月 12回開催
健康体操教室	Y. S. C. C.のトレーナーの指導のもと、足腰が弱い高齢者でも無理なく継続できる体操教室を行います。	4月～3月4回開催
スポーツ協会との共催事業	中区スポーツ協会との共同企画で、誰でも手軽に親しむことができる軽スポーツを実施します。 ・「ウォーキング&ゴミ拾い」 地区内のごみを回収しながら、健康的・実践的な歩き方を習得します。 ・「正しいラジオ体操を学ぼう」 ラジオ体操を正しい方法で実施することにより、健康増進と理解と関心を高めていただきます。 ・「ヨコハマさわやかスポーツに親しむ」 幅広い世代で手軽に楽しめるラダーゲッター、ボッチャ、グランドゴルフなどを行い、交流の機会と心身の健康を高める機会としていただきます。	4月～3月 複数回開催
ことぶき協働スペースとの共催事業	・「ポップアートカードを作ってみよう」 カードを開くと飛び出すモチーフが楽しいポップアップカードを指導者からの手ほどきにより制作し、楽しいひと時を過ごしていただきます。 ・「スマホの基本を覚えよう」 持っているのに使えない方に、写真のとり方、見方など初歩的な諸々の機能既往を伝授し、スマホ生活をより豊かなものとしていただきます。	年3～4回 スマホ 月1回
民間コラボ講座	日本茶販売会社の職員を講師として招き、おいしいお茶の淹れ方を習得する機会とし、日常生活を楽しく豊かなものとしします。	複数回

他、生活習慣病予防など講座を、各施設・会場へ出張して実施していきます。
また、保険会社が行う地域住民のコミュニティ活動とコラボし「睡眠講座」

「防災講座」「もしもの時の行動プラン講座」などを開催します。

※Y. S. C. C. (NPO法人 横浜スポーツアンドカルチャークラブ)

中区本牧に本部を置き、子どもから社会人まで、家族的雰囲気の中で活動するスポーツクラブで、現在J3リーグに所属しています。地域貢献活動の一環として、寿地区の健康増進、スポーツ普及に取り組んでいます。

② スマイル事業

センターを会場に、誰でも気軽に参加でき、笑顔で楽しめる多様で魅力的なプログラムを実施していくことで、引きこもりがちな住民が屋外に出るきっかけとし、交流を深める場としての事業を展開していきます。

◆主なプログラム

名 称	内 容	回数
スマイルパター	パターゴルフのように行い、6回打ってボールが得点的に何個入るのかを点数にして競い合います。	年12回
スマイルゴルフ	専用のクラブ、ボールを用いホールに入ったボールの合計を競い合います。	年15回
頭脳クラブ	脳トレ、トランプなど頭脳を使ったレクリエーションを実施します。	年4回
映画クラブ	懐かしの名作映画をワイドスクリーンで上映します。	年12回
書道クラブ	書を通じてふれ合うとともに、年2回開催している「ことぶき作品展」への出展に向け、上達を目指します。	年12回
スマイルいろいろ クラブ ～自由時間～ 【見直し】	従来の事前申込制を見直して入退室自由とし、オセロ、囲碁将棋、麻雀、カードなど、やりたいものを選んで自由に楽しむ時間を提供します。	年6回
工芸クラブ	手芸、工作等を体験してもらい、創作を通じて、心の活力と安らぎの得られる場とします。	年12回
クリスマス会	ゲームと飲食を楽しむクリスマス会を行います。	年1回

③ バラエティ講座

センターを多くの方に知っていただくため、各種講座・教室を開催します。これらの自主企画事業を通じ、多くの住民の方々が参加することにより、住民同士の交流を深め、能動的な社会参加につながるようにします。また、寿地区以外の方にも参加していただけるプログラムも企画していきます。

◆主なプログラム

名 称	内 容	実施月
マイノリティ（社会的少数者）などの理解のため講座	LGBT や依存症などの当事者や家族、また支援者・専門家などから話を聞き、理解を深めるための講座を開催します。 （5年度、LGBT と多文化共生講座を企画しましたが感染拡大のため中止）	4月～ 複数回
横浜の歴史講座 【新規】	住んでいても知らなかった横浜の歴史の人物や場所などをテーマにあわせてわかりやすく説明します。	4月～ 複数回
書道教室 【新規】	講師を招いて個人差及び経験の有無により異なった各自にあわせた書道指導を行います。また「名前の個人レッスン」など、テーマを決めて練習する回も設けます。	4月～ 複数回
お面を作ろう【継続】	ハロウィンの時期などに合わせて、それぞれ参加者が思い思いのお面を創作し、センター内などに展示します。創作による心の豊かさを醸成し、講座を通じて参加者同士触れあい、親しんでいただく機会とします。	9月～ 複数回

他「昔あそびと街頭紙芝居の会」「季節のうたごえ会」「Sdgs って何？」などの講座を開催します。

(6) 地域共催事業（公益目的事業 1）への参加・協力

地域の自治会や社会福祉協議会などが主体となって開催された各種事業に参加・協力をします。

① ラジオ体操

平日（月～金）朝、住民や関係団体職員等が参加して、センター広場にてラジオ体操を実施します。

② 地域防災拠点訓練

「寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会」に主体的に参加し、主催の地域防災拠点訓練について準備段階から企画に参画し、当日の運営に協力します。

(7) センターまつり（公益目的事業 1）

日ごろから利用されている方々への感謝の意を表すため、地域関係団体と協力し、センターあげでのイベントを開催します。

6年度は、センターの開所5周年及び財団の設立50周年にあたる年でもあるため、センターまつりの一環として記念事業を企画します。

参加者・予定来場者 800人

【コンセプト】

- ・地区外の方にも関心を持ってもらい、新たな利用層の獲得します。
- ・地域関係団体等と協力をし、多くの地域住民が楽しめる地域に根付いたお祭

りに育てていきます。

- ・健康づくりの普及啓発を行います。
- ・各班職員による実行委員会で企画を練り運営し、手づくりで親しみやすい祭りを作り上げます。職員と地域住民との交流の場とします。

(8) センター運営協議会の開催

センターの運営をより効果的かつ地域に密着したものとするため、地元委員、関連施設委員、行政関係者による運営協議会による検討と意見交換を行います。

- ① 開催予定 年2回
- ② 会場 センター2階会議室
- ③ 委員 19人
- ④ 内容 センターの利用状況等説明、意見交換

(9) 施設の維持管理

センター利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくために施設の維持管理等を行います。

- ① 建物清掃・管理関係
建物清掃、人的警備、機械警備、電気設備管理、電気保安点検等
- ② 各種設備点検整備等関係
消防設備、空調設備、昇降機、自動ドア、受水槽類清掃委託
貯水タンク類保守、衛生害虫駆除、樹木選定・植栽管理等

令和6年度

収支予算書

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月31日

公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会

目 次

1. 財務諸表

正味財産増減計算書..... 1

正味財産増減計算書内訳表..... 3

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
	当 期 (R6.4 ~ R7.3)	前 期 (R5.4 ~ R6.3)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用収益	1,000	1,000	0
特定資産受取利息	1,000	1,000	0
事業収益	442,360,000	407,980,000	34,380,000
センター指定管理料収益	204,607,000	176,558,000	28,049,000
診療事業収益	168,742,000	164,569,000	4,173,000
公衆浴場利用料金収益	13,634,000	13,025,000	609,000
施設貸付収益	950,000	800,000	150,000
寿生活館指定管理料収益	43,347,000	43,334,000	13,000
仕事チャレンジアシスト事業受託	5,732,000	3,874,000	1,858,000
寿交流サポート事業受託収益	5,348,000	5,820,000	△ 472,000
負担金収益	100,000	91,000	9,000
自己負担金収益	100,000	91,000	9,000
雑収益	142,000	112,000	30,000
雑収益	142,000	112,000	30,000
経常収益計	442,604,000	408,185,000	34,419,000
(2) 経常費用			
事業費	443,621,000	454,884,000	△ 11,263,000
役員報酬	7,257,000	7,445,000	△ 188,000
報酬	222,872,000	257,444,000	△ 34,572,000
給料・手当	38,936,000	37,217,000	1,719,000
退職給付費用	2,597,000	2,492,000	105,000
厚生費	35,328,000	28,543,000	6,785,000
福利費	2,514,000	2,132,000	382,000
旅費交通費	103,000	207,000	△ 104,000
臨時雇賃金	9,112,000	5,544,000	3,568,000
健康コーディネート活動費	1,075,000	1,440,000	△ 365,000
デイケア活動費	1,399,000	900,000	499,000
交流活動費	1,995,000	2,226,000	△ 231,000
高齢者・文化活動費	88,000	279,000	△ 191,000
公衆浴場運営活動費	583,000	0	583,000
会議費	4,000	4,000	0
減価償却費	4,757,000	5,007,000	△ 250,000
通信運搬費	903,000	938,000	△ 35,000
消耗什器備品費	815,000	1,040,000	△ 225,000

(単位:円)

科 目	金 額		
	当 期 (R6.4 ~ R7.3)	前 期 (R5.4 ~ R6.3)	増 減
消耗品費	4,501,000	4,447,000	54,000
修繕工事費	2,518,000	1,681,000	837,000
印刷製本費	145,000	193,000	△ 48,000
光熱水料費	18,618,000	18,790,000	△ 172,000
賃借料	5,168,000	5,914,000	△ 746,000
保険料	347,000	366,000	△ 19,000
租税公課	1,762,000	1,527,000	235,000
委託費	40,413,000	39,992,000	421,000
医薬材料費	36,836,000	25,764,000	11,072,000
雑費	2,975,000	3,352,000	△ 377,000
管理費	6,239,000	5,292,000	947,000
役員報酬	1,086,000	1,107,000	△ 21,000
報酬	1,352,000	1,093,000	259,000
給料・手当	1,054,000	1,281,000	△ 227,000
退職給付費用	47,000	87,000	△ 40,000
厚生費	1,456,000	472,000	984,000
福利費	85,000	24,000	61,000
旅費交通費	6,000	20,000	△ 14,000
通信運搬費	4,000	8,000	△ 4,000
消耗品費	19,000	27,000	△ 8,000
光熱水料費	57,000	115,000	△ 58,000
租税公課	5,000	30,000	△ 25,000
雑費	80,000	60,000	20,000
支払寄付金	20,000	0	20,000
税務相談報酬	968,000	968,000	0
経常費用計	449,860,000	460,176,000	△ 10,316,000
当期経常増減額	△ 7,256,000	△ 51,991,000	44,735,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
貸倒引当金繰入	66,000	66,000	0
経常外費用計	66,000	66,000	0
当期経常外増減額	△ 66,000	△ 66,000	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,322,000	△ 52,057,000	44,735,000
一般正味財産期首残高	54,989,000	95,186,000	△ 40,197,000
一般正味財産期末残高	47,667,000	43,129,000	4,538,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	48,667,000	44,129,000	4,538,000

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	公3	公4	小計	収1	小計			
	労働者及び地域住民の就労の確保と福祉の向上を図る事業	より患者に寄り添い差別なく平等に必要な医療を提供する診療事業等	住居がない者及び簡易宿泊所宿泊者等の更生と福祉を図る事業	仕事チャレンジアシスト受託事業	小計	貸付事業	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
事業収益	87,981,000	279,230,000	43,347,000	11,080,000	421,638,000	16,630,000	16,630,000	4,092,000	0	442,360,000
センター指定管理料収益	87,981,000	110,488,000	0	0	198,469,000	2,046,000	2,046,000	4,092,000	0	204,607,000
診療事業収益	0	168,742,000	0	0	168,742,000	0	0	0	0	168,742,000
公衆浴場利用料金収益	0	0	0	0	0	13,634,000	13,634,000	0	0	13,634,000
施設貸付収益	0	0	0	0	0	950,000	950,000	0	0	950,000
寿生活館指定管理料収益	0	0	43,347,000	0	43,347,000	0	0	0	0	43,347,000
仕事チャレンジアシスト事業受託収益	0	0	0	5,732,000	5,732,000	0	0	0	0	5,732,000
寿交流サポート事業受託収益	0	0	0	5,348,000	5,348,000	0	0	0	0	5,348,000
負担金収益	100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000
自己負担金収益	100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000
雑収益	30,000	30,000	10,000	0	70,000	72,000	72,000	0	0	142,000
雑収益	30,000	30,000	10,000	0	70,000	72,000	72,000	0	0	142,000
経常収益計	88,111,000	279,260,000	43,357,000	11,080,000	421,808,000	16,702,000	16,702,000	4,094,000	0	442,604,000
(2) 経常費用										
事業費	88,978,000	280,405,000	45,257,000	11,080,000	425,720,000	17,901,000	17,901,000	0	0	443,621,000
役員報酬	4,032,000	2,016,000	645,000	161,000	6,854,000	403,000	403,000	0	0	7,257,000
報酬	22,178,000	173,572,000	19,691,000	7,161,000	222,602,000	270,000	270,000	0	0	222,872,000
給料・手当	17,278,000	13,989,000	7,037,000	421,000	38,725,000	211,000	211,000	0	0	38,936,000
退職給付費用	773,000	1,207,000	589,000	19,000	2,588,000	9,000	9,000	0	0	2,597,000
厚生費	7,582,000	21,464,000	4,690,000	1,442,000	35,178,000	150,000	150,000	0	0	35,328,000
福利費	484,000	1,566,000	260,000	195,000	2,505,000	9,000	9,000	0	0	2,514,000
旅費交通費	49,000	35,000	15,000	1,000	100,000	3,000	3,000	0	0	103,000
臨時雇賃金	3,887,000	4,182,000	1,043,000	0	9,112,000	0	0	0	0	9,112,000
健康コーディネート活動費	0	1,075,000	0	0	1,075,000	0	0	0	0	1,075,000
デイケア活動費	0	1,399,000	0	0	1,399,000	0	0	0	0	1,399,000
交流活動費	1,995,000	0	0	0	1,995,000	0	0	0	0	1,995,000
高齢者・文化活動費	0	0	88,000	0	88,000	0	0	0	0	88,000
公衆浴場運営活動費	0	0	0	0	0	583,000	583,000	0	0	583,000
会議費	0	0	4,000	0	4,000	0	0	0	0	4,000
減価償却費	1,088,000	3,533,000	0	0	4,621,000	136,000	136,000	0	0	4,757,000
通信運搬費	401,000	282,000	184,000	36,000	903,000	0	0	0	0	903,000
消耗什器備品費	300,000	415,000	100,000	0	815,000	0	0	0	0	815,000
消耗品費	1,917,000	1,296,000	869,000	323,000	4,405,000	96,000	96,000	0	0	4,501,000
修繕工事費	626,000	255,000	715,000	0	1,596,000	922,000	922,000	0	0	2,518,000
印刷製本費	100,000	45,000	0	0	145,000	0	0	0	0	145,000
光熱水料費	5,643,000	1,752,000	5,327,000	0	12,722,000	5,896,000	5,896,000	0	0	18,618,000

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	公3	公4	小計	収1	小計			
	労働者及び地域住民の就労の確保と福祉の向上を図る事業	より患者に寄り添い差別なく平等に必要な医療を提供する診療事業等	住居がない者及び簡易宿泊所宿泊者等の更生と福祉を図る事業	仕事チャレンジアシスト受託事業	小計	貸付事業	小計			
賃借料	896,000	3,706,000	342,000	88,000	5,032,000	136,000	136,000	0	0	5,168,000
保険料	21,000	130,000	99,000	97,000	347,000	0	0	0	0	347,000
租税公課	20,000	453,000	4,000	582,000	1,059,000	703,000	703,000	0	0	1,762,000
委託費	19,297,000	9,320,000	3,486,000	242,000	32,345,000	8,068,000	8,068,000	0	0	40,413,000
医薬材料費	0	36,836,000	0	0	36,836,000	0	0	0	0	36,836,000
雑費	411,000	1,877,000	69,000	312,000	2,669,000	306,000	306,000	0	0	2,975,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	6,239,000	0	6,239,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	1,086,000	0	1,086,000
報酬	0	0	0	0	0	0	0	1,352,000	0	1,352,000
給料・手当	0	0	0	0	0	0	0	1,054,000	0	1,054,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	47,000	0	47,000
厚生費	0	0	0	0	0	0	0	1,456,000	0	1,456,000
福利費	0	0	0	0	0	0	0	85,000	0	85,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	6,000	0	6,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	19,000	0	19,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	57,000	0	57,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	80,000	0	80,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
税務相談報酬	0	0	0	0	0	0	0	968,000	0	968,000
経常費用計	88,978,000	280,405,000	45,257,000	11,080,000	425,720,000	17,901,000	17,901,000	6,239,000	0	449,860,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 867,000	△ 1,145,000	△ 1,900,000	0	△ 3,912,000	△ 1,199,000	△ 1,199,000	△ 2,145,000	0	△ 7,256,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 867,000	△ 1,145,000	△ 1,900,000	0	△ 3,912,000	△ 1,199,000	△ 1,199,000	△ 2,145,000	0	△ 7,256,000
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益										
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	66,000	0	0	66,000	0	0	0	0	66,000
経常外費用計	0	66,000	0	0	66,000	0	0	0	0	66,000
当期経常外増減額	0	△ 66,000	0	0	△ 66,000	0	0	0	0	△ 66,000
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 867,000	△ 1,211,000	△ 1,900,000	0	△ 3,978,000	△ 1,199,000	△ 1,199,000	△ 2,145,000	0	△ 7,322,000
一般正味財産期首残高					△ 26,519,000	△ 14,988,000	△ 14,988,000	96,496,000	0	54,989,000
一般正味財産期末残高					△ 30,497,000	△ 16,187,000	△ 16,187,000	94,351,000	0	47,667,000
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額					0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額					0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高					0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
指定正味財産期末残高					0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
III 正味財産期末残高					△ 30,497,000	△ 16,187,000	△ 16,187,000	95,351,000	0	48,667,000